

令和 2年 4月 23日

那珂川市長 武末茂喜 殿

那珂川市議会
松尾正貴

要 望 書

新型コロナウイルス感染症において、感染症指定医療機関、一般の協力医療機関にて感染者受け入れを行い、治療にあたって頂いているが、感染者拡大に伴い医療体制の崩壊が懸念される。

感染症指定医療機関、一般の協力医療機関においては、重症者の受け入れを優先し、軽症者に関しては、ビジネスホテルなどを軽度症状感染者受入れ施設として借り上げることとしており、福岡県においても現在、同様な動きをとっている。

本市においては、感染者を受け入れる医療機関や旅館業が無く、その対象施設となるべきものが皆無であり、県だよりとなり、受け入れを他市町村に委ねることが想定される。

県や他の市町村だよりとするだけでなく、市としての対応を想定すべきである。

PCR 検査の検体採取も今後、ドライブスルー採取所や選別診療所の方式も想定されることを踏まえ、使用可能となる公共施設選定を早急に行う必要がある。よって、下記の事項について、次のとおり要望いたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症対策における市の施設の対応について

(1) PCR 検査検体採取の対応について

- ①県の要請があった場合や市独自にて検体採取が可能となった場合には、ドライブスルー採取所や選別診療所などの設置を速やかに行える公共施設を示せるように努めること

(1) 軽度症状感染者受入れ施設の対応について

- ①長期化が懸念される現状を踏まえ、間仕切り等を施すことで軽症者の受入れ施設として使用可能となる公共施設を選定し、建築、空調、電気設備、医療機関、飲食宅配業者との協議、連携を早急に行い、事態発生時には短期間で施設の改修、開設が行えるように努めること